



第13号

高知県立高知国際中学校だより

高知県立高知国際中学校

〒780-8052 高知県高知市鴨部2丁目5番70号

令和2年(2020)秋 校長 森本 民之助

すっかり秋です。学校では、長袖シャツにベスト姿がほとんどになり上着の着用も目立つようになりました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、1学期終業式を7月31日(金)に、2学期始業式は予定どおり8月26日(水)に行い、夏休みが10日余り短くなりました。学校行事や課外活動も、一定の制限をかけたり見送ったりしたものがあ、生徒の皆さんや保護者、関係者の方々にはご心配をかけています。今後も、一度に多くの人が集まる際は十分に注意を払い、不特定多数の方が対象となる行事には参加制限などできる限り密になることを避けて、感染拡大の防止に努めます。そして、ICT活用や時間空間の使い方を工夫し、学校生活の新しいカタチを模索していきます。

新しいカタチの中で、ICT活用は大きなウエイトを占めます。本校は開校当初から生徒一人ひとりがタブレットを持ち活用してきました。今年春の家庭学習期間にも、抵抗なく学校と家庭を結ぶオンライン授業ができたことや定期的に連絡がとれたことは、新しいカタチの一つだと考えます。今後、様々なことがICTを活用して行われ、時間空間の壁を簡単に超えて情報のやり取りがどんどんできるようになるでしょう。学校もこの社会の変化にうまく対応していきます。このことは決して、これまで培ってきたものを否定するものではありません。古くからあるものには、これまで変わることなく大事にしてきたものが息づいています。

かなり前のこととなりますが、名古屋市の徳川美術館を訪ねたときのことです。玄関には和服を楚々と着こなしている方々がいました。正式な会合でもあ、のだろうかと尋ねてみました。いえ何も。今日は源氏物語絵巻の展示を観に来ました、とのこと。その方々は歴史的美術品や芸術品に敬意を払い、美術館などを訪れる時にはご自身の身なりを整えたうえで出会うようにしているのでしょうか。この日の源氏物語絵巻に敬意を表したように、一つの気持ちを感じることができた経験でした。

不易と流行はいつの時代にも言われてきました。新しいカタチの重要性を認識しつつ、人が人を育てること、人は人によって育つことが教育の基本にあることは忘れないでいたいと思います。



中庭から見上げた秋晴れの空

MYP 確認訪問が終わりました

MYPコーディネーター：伊芸 美紀

本校は、平成30年4月に開校以来、「グローバル社会で求められる高い志と、資質・能力を育む」を教育目標に掲げ、国際バカロレア(以下、「IB」)の中等教育プログラム(MYP)を取り入れた、概念ベースの探究的な学習の研究に取り組んできました。本研究を、より深くそして持続可能な研究とするため、IBワールドスクールの認定を目指しています。

開校から約2年半、IB候補校としての試行期間を経て、認定への最終段階として、令和2年9月17日(木)～18日(金)に、確認訪問が行われました。

確認訪問では、国際バカロレアの公式訪問チーム2名が来校し、施設や授業見学のほかに、各教科担当の教員、学校のサポートスタッフ、そして、保護者の皆さんや生徒の皆さんとの面談が行われました。すべての面談終了後、訪問チームから本校が今十分にできていること、もう少し努力が必要だと思われること等を国際バカロレアの「プログラムの基準と実践要綱」に基づいて丁寧に説明いただきました。いくつかの指摘事項もありましたので、それらを改善しながら、より良い学校づくりに努めてまいります。

ななこカフェ、やっています。

企画・研修部

DPコースについて
交流する様子

「ななこカフェ」とは、主に授業時間外に身近な専門家をお招きして、カフェのようにじっくりお話を聞く時間としてもうけているものです。記念すべき第1回目の講師だった佐野ななこさん(高知市出身・インドのIBディプロマ校卒業)から名前をいただき、「ななこカフェ」としました。

今年度も既に4回を数え、黒潮実感センターの神田優さんをお招きして海の環境保全活動についてお話をいただいたり、東京学芸大学附属国際中等教育学校のDPコースを選択している生徒との交流をオンラインで行う等、多様なテーマで開催しています。希望者のみの参加になりますが、ぜひ積極的に参加してもらいたいと思います。みなさんは、どんなことに興味がありますか？

高知国際中の IB プログラムについて -第 2 段-

Music 音楽主任：中山 直之

みなさんはこの MYP のプログラムモデルを何度も目にしてきたことでしょう。

2015 年 8 月、初めて IB のワークショップに参加しました。その最初のセッション「IB の理念」においてこのモデル図が示されました。この図の 3 つ目の円にこの学校で学ぶ全ての教科が同列に示されていることに感動し、これから国際中学校をつくる喜びに体が震えました。今もその思いを持って授業に臨んでいます。

国際中の音楽を担当する 2 人の教員は、高校の音楽を専門とし、MYP では、高校生になるまでに学ぶ内容を精選し、DP 音楽を選択した時に、より深くより楽しく学ぶことのできる表現力を身につけて欲しいと思っています。

新学習指導要領の音楽科の目標の一文に「曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける・・・」とあります。背景・多様性・創意・表現・技能・・・指導要領も IB の ART ガイドも書かれていることは同じです。



MYP プログラムモデル



令和 2 年度芸術鑑賞会：文化庁主催

令和の時代に生まれている J ポップも、時代を超えて受け継がれてきたクラシックも、生徒にとっては「初めて出会う音楽」です。自分が聴きたい曲、自分が歌いたい歌、演奏したい楽器、演奏したい音楽、皆さん一人一人が好きな音楽に出逢い、生涯にわたって音楽を愛好する人になって欲しいと心から願っています。

追記：いつも言うように、将来、起業したり、企業のメセナ担当になったり、しっかり稼いだら、社会貢献の 1 つとして「芸術文化の支援」をよろしくお願いします！

Language&Literature 国語主任：中野 久美子

本校の国語の授業では、主に「答えのある問い」「答えの無い問い」の 2 つのことについて取り組んでいます。「答えのある問い」については漢字や文法の学習がメインとなります。

「答えのない問い」に関する単元では小説を読んだ後、語り手の視点を替えて物語の「語り直し」を行いました。これは「視点」が替わることで「作品」の印象が読み手にどの程度影響するのかを考察するためです。私たち人間は同じ物事（問題）を見ているつもりでも、視点が変わるとその物事は全く違った見え方や捉え方をすることがあります。この事実を確認するために、「語り直し」という方法で学習を進めました。また、2 年生『論語』のユニットでは、孔子の言葉から、「人間の普遍的な考え方は何か」について学習を行いました。生徒の意見から、「孔子の考えは IB の考え方と似ている部分がある」と言った声も聞こえてきました。



1 年生『竹取物語』実況中継



2、3 年生 書写

国語では書写の授業も行います。書写の時間には作品の特徴を捉えて書くことを目標にすすめています。普段の授業ではグループ活動や発表などが多いですが、書写の授業では忍耐強く取り組むという情動スキルを意識して授業を行います。課題作品の特徴を捉えて書いてみる。書いてみたものを鑑賞し、修正ポイントを確認したうえで作品作りに生かすという作業を繰り返しながら完成させていきます。作品を並べて比較してみると、自分の成長の過程がよく分かります。

人工知能が思考できる時代が来ても、その思考の目的を与えるのは人間です。目的を与える正しさを判断したり、物ごとに価値を見出したり、感じた美しさ等を率直に表現できるのは人間の強みです。自分の思いや考えを適切な確に伝えるにはどうすればよいのか。国語ではその方法について、考える、表現する、伝える、想像することなど、様々な活動をととして学んでいきます。

コラム「311被災地を訪問して」 主幹教諭：白井 裕史

今から9年半ほど前の2011年（平成23年）3月11日の15時少し前はどうな生活を送っていましたか？きっとほとんど思い出せないぐらいの普通の毎日だったでしょう。この日は日本が今までに遭遇したことがない大地震に遭遇した日なのです。私はこの日、他の中学校で放課後の部活指導をしていました。私も普通の生活を送っていました。それから9年半が経ち、東北の被災地を訪問するチャンスがあったので、コロナ禍の心配はありましたが万全の予防体制で宮城県と岩手県を4日間訪問してきました。その4日は衝撃的で何度も「百聞は一見に如かず」という諺を感じました。

被災地のことはテレビやインターネットの情報は何度も見ていたし、南海トラフ地震のこともしっかり準備していると思っていました。そのことは被災地の人たちも同じでしたが、学習（知識・理解）した経験は安心や油断を生むことにもつながっていたことに気づきました。防災センター、指定避難場所、浸水マップ、備蓄品、避難タワー、など高知県では大地震に向けた準備が着々と進んでいます。でも、それは自分の実感をともなった学習（体験や探究）にこそ、実際に起こったときに役立つということに気づきました。

被災地では9年以上たった今でも「悲しみや苦しみ」が癒されていない生活があります。私がこの訪問を通して少しでも皆さんに今一度地震のことについて考えるきっかけとなり悲しみや苦しみを生み出さないための学習が必要だと強い思いを胸に高知に戻ってきました。

今年度は半分が過ぎましたがまだ避難訓練の機会もあります。授業や行事でも皆さんに今一度考える時間を作り出したいと考えています。そして、この文章を読んでくれたことをきっかけに、まずは自分の身の回りの人の苦しみや悲しみを作らない行動をとってもらえれば幸いです。登下校路の浸水マップや家族と避難場所について確認してもらえればと思います。



被災した学校の屋内運動場

フィールドワーク ギャラリー

総合的な学習の時間担当：古屋 佑奈

10月23日(金)に、全学年がそれぞれフィールドワークに出かけ、校外で様々な体験をし、学ぶことができました。校外に活動の幅を広げ、実際に経験すること、様々な方とお話することの大切さを改めて感じた1日でした。

1年生：高知市内探索



「高知」の多様な魅力を再発見しました。

2年生：佐川町探索

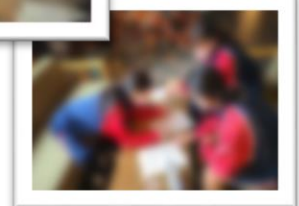
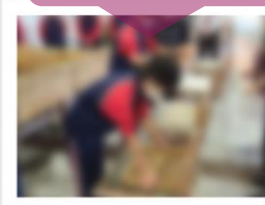


佐川町のよさを再認識し、新たな発見もありました。

3年生：紙漉き・ドラゴンカヌー体験



漉いた和紙は卒業証書に使用します。



生徒の活躍

表彰伝達を行いました

第 5 回高知県学年別水泳競技大会

岡谷さん

中学 3 年男子 50mバタフライ 第 2 位

中学 3 年男子 50m自由形 第 3 位

瀧本さん

中学 2 年女子 50m背泳ぎ 第 1 位

中学 2 年女子 200m個人メドレー 第 2 位

中学 2 年女子 200m自由形 第 2 位

中嶋さん

中学 1 年女子 50m平泳ぎ 第 2 位

中学 1 年女子 100m平泳ぎ 第 2 位

中学 1 年女子 200m平泳ぎ 第 2 位

第 29 回高知県中学校新人陸上競技選手権大会

上岡さん 女子 800m 第 2 位

第 33 回高知県中学校陸上競技選手権大会

上岡さん 女子 800m 第 1 位

辻本さん 中学男子 砲丸投げ 第 1 位

第 20 回森や自然についての子ども達の作文コンクール

中学校の部 山の大賞 (高知県山林協会長賞) 上岡さん

高知県教育文化祭 2020 高知県吹奏楽祭

吹奏楽部 敢闘賞

第 21 回高知市陸上競技カーニバル

辻本さん 中学男子 砲丸投げ 第 1 位

上岡さん 中学女子 800m 第 1 位

第 66 回全日本中学生通信陸上競技大会 高知大会 アシックスチャレンジカップ

上岡さん 女子 800m 第 2 位

2020 年度第 5 回ヤングスターランクリスト競技大会サマーカップ

上岡さん ビームライフル少年女子 立射 60 発競技 小中学生の部 第 2 位

令和 2 年度西四国ライフル射撃選手権大会兼四国夏季片手撃選手権大会

上岡さん BR60WJ 中学の部 第 1 位

第 43 回高知市陸上競技選手権大会

上岡さん 中学女子 800m 第 1 位

辻本さん 中学男子 砲丸投げ 第 1 位



お知らせ

2 学期の主な日程

教務部

- 11 月 13 日(金) 第 1 回公開授業研究発表会
- 11 月 19 日(木), 20 日(金) オリンピック・パラリンピック事業ワークショップ (3 年)
- 11 月 25 日(水) 総合的な学習の時間発表会(3 年)
- 11 月 27 日(金) 防災教育(6,7 時間目)
- 12 月 3 日(木), 4 日(金) 期末試験
- 12 月 4 日(金) ホームマッチ
- 12 月 9 日(水) 高知県学力定着調査(1,2 年)・生徒会役員選挙
- 12 月 18 日(金) 「コース選択届」「進路変更届」提出(3 年生)
- 12 月 24 日(木) 保護者シェア会
- 12 月 25 日(金) 終業式・生徒会役員選挙認証式
- 12 月 26 日(土), 27 日(日) 保護者面談(1,2 年生)

第 1 回公開授業研究発表会を行います

企画・研修部

11 月 13 日(金)に、本校では初めてとなる公開授業研究発表会を実施します。高知県内の学校関係者を招いて、公開授業と全体会を行います。また、玉川大学のクインシー亀田先生にオンラインで「高知県らしい IB 教育」という演目で講演をいただく予定です。

防災教育

総務・ICT 教育部

11 月 27 日(金)に宮城教育大学の武田真一特任教授、高知県教育委員会学校安全対策課、佐賀中学校の生徒(防災甲子園受賞)を招き、防災教育を実施します。また、11 月 5 日(木)の放課後には「ななこカフェ」で希望者に対して起震車体験を行います。いつ来るかもわからない南海トラフ地震に備え、各々の防災意識を高めるための時間になるよう、震災や防災に関する理解を深めていきたいと思ひます。

高知県立高知国際中学校

〒780-0852 高知県高知市鴨部 2 丁目 5 番 70 号

TEL:088-844-1221 FAX: 088-844-4823

URL: <http://www.kochinet.ed.jp/kokusai-jh/>

Email: kokusai-jh@kochinet.ed.jp



高知県立高知国際中学校・高等学校 公式 twitter

<https://twitter.com/kochikokusai>



高知県立高知国際中学校・高等学校 公式 Facebook

@kochikokusai

